

# 輪之内町報

第 貳 八 号

発行 者 国 枝 敬 二  
発 行 所 輪 之 内 町 役 場  
大 垣 市 高 屋 町  
印 刷 所 川 瀬 印 刷 K K

## 役 場 た よ り

### 税 務 係 か ら

十月三十一日限りの納税は次の通りであります。

### 町 民 税 第 三 期 分

### 戸 籍 係 か ら

婚姻 (自八月二十一日 至九月二十一日) 計十七名

四 郷	夫 山 北 重 雄	妻 渡 辺 鳩 枝
藻 池 新 田	妻 伊 藤 伊 都 子	夫 河 合 和 夫
塩 喰	妻 新 田 京 子	夫 神 野 宏 一
下 大 樽 新 田	妻 森 島 こ い	夫 小 林 務
中 郷	夫 入 山 博	妻 曾 根 キ ミ
福 東	妻 洪 谷 雪 子	夫 谷 所 憲 和
大 薮	夫 国 島 多 平	妻 浅 野 節 子
海 松 新 田	妻 黒 田 艶 子	夫 伊 藤 吉 一
中 郷 新 田	妻 河 村 孝 子	夫 野 津 努
南 波	夫 加 納 料 助	妻 土 屋 年 枝
南 波	夫 加 納 中 弘	妻 山 中 み さ ぶ
下 大 樽	妻 加 納 し げ 子	夫 太 田 利 雄
大 薮	妻 菱 田 照 義	妻 岡 田 あ や 子
大 薮	妻 大 橋 か ず 子	夫 小 川 薫
大 薮	夫 棚 橋 幸 夫	妻 吉 田 た か 子
大 薮	夫 田 中 弘 之	妻 大 橋 武 子

松 内 夫 棚 橋 三 男 妻 炭 籠 し ず 子

死亡 (自八月二十一日 至九月二十一日) 二十才以上

高 木 さ く の (七 一)

近 藤 実 (五 九)

辻 重 助 (七 四)

田 中 ま す (七 六)

矢 野 要 八 (七 六) 計 五 名

出生 件 数 十 五 死亡 件 数 七

## 学 校 た よ り

### 福 東 小 学 校 か ら

#### ◇ 御 案 内

子 達 が 待 ち に 待 っ て い ま す 運 動 会 は、例 年 の 通 り 祭 祭 の 翌 日 (十 月 十 一 日 雨 天 順 延) に 行 い ま す。御 一 家 お 揃 い で、御 観 覧 下 さ い ま す よ う 御 案 内 申 上 げ ま す。

尚 風 食 は、子 供 達 は 教 室 で 先 生 と 一 し ょ に い た だ き ま す の で、予 め 御 承 知 下 さ い。

#### ◇ お 知 ら せ

(一) 秋 の 遠 足  
十 月 十 七 日 (雨 天 順 延) に 行 い ま す。三 年 以 上 は 養 老、二 年 以 下 は 須 脇 方 面 の 予 定 で す。往 復 と

も 徒 歩、六 年 は 別 の 方 面 を 予 定 し て い ま す。

### (二) 水 都 祭 図 画 書 道 大 会 入 選 者

#### 図 画

金 賞 三 年 森 弘 子 森 島 善 治 六 年 神 戸 節 子  
銀 賞 一 年 も り ま さ み 三 年 北 島 智 子 田 中 一 宏 片 山 定 子 田 中 節 子 五 年 金 森 真 吾  
六 年 小 林 光 昭

#### 書 道

入 選 十 一 名

金 賞 五 年 川 瀬 妙 子  
銅 賞 一 年 も り ま さ み 外 十 五 名

入 選 四 十 名

### 主 な 学 校 行 事

一 日 貯 金 日 始 業 時 刻 変 更 八 時 三 〇 分

四 日 運 動 会 総 練 習

七 日 魔 品 回 収

一 〇 日 氏 神 祭 (休 日)

一 一 日 運 動 会

一 五 日 貯 金 日

一 七 日 遠 足

二 二 日 学 校 育 友 会

二 五 日 研 究 会

### 仁 木 小 学 校 か ら

#### 十 月 の 生 活 目 標

◎ お ち つ つ い て べ ん き ゃ う し ょ う

お 祭、運 動 会、遠 足 で、こ の 月 は、子 供 達 に と っ て ほ ん と う に 楽 し い 月 で あ り ま す。そ れ だ け に 心 も そ わ そ わ し て、カ バ ン を 放 っ て お い た り、お

報 町 内 之 輪

金づかいがあらくなったり、食いすぎておなかをこわしてしまふといったことがあります。

こういう月を、どうしてきまりよく、楽しく暮らしていかか。子供を育てていく立場から考えてみると、ほんとうに大切だと思ひます。

お祭という生活の勉強は、たくさんありますが、いただいたお金をどういうぐあいに使うかが問題で、ピストルを二つも買ったたり、なくなつてしまふものばかり買つたり、買ったものが兄弟けんかのもととなつたりします。

いただいたお金はどう使うか、これは一人一人の大切な問題であると思ひます。お金の教育をするには、ほんとうに大事な場だと、考えます。

又、お客さまに対するところがまえや、およばれのおぎょうぎやら、又腹がたいこのようになる食べ方も、考えるようにしむけて行くべきだと思ひます。

次に運動会のことですが、今年も子供達でそうだし、行っていくようにつとめております。昨年の運動会をふりかへつて、子供達は、風休みにお母さんにお金をもらつて、店の前で立つてはよくない。出入口をふさいでしまわれる人があつて困つた。又運動会の跡のごみのしまわれはよくなかつた。と言つております。私共はこの子供の叫びをすなおに聞いてみる必要があると思ひます。今年は去年よりも立派にしようと、みんな意気こんでいます。単に面白いとか、めずらしいとかといったことよりも、地味ではあるが、みんな仲よく助けあい、一人一人が力一ぱいできる運動

会にしたいと願つております。

月末には遠足を計画致しておりますが、きまりよい楽しい遠足が出来るように、学習の場として指導して行きたいと思つております。

お祭、運動会、遠足の三本の柱を「おちつて、べんきょうしよう」というひもで、しっかりしつて力強く指導を進めたいと願つております。

十月は特に、皆様方の御協力に依らなくては出来ないことが多くありますが宜しく御願ひ致します。

十月の行事予定

- 二日 運動会総練習
- 四日 臨時仁木こども協議会
- 一二日 運動会
- 一八日 貯金日
- 二四日 育友会
- 二五日 仁木こども協議会
- 二六日 避難訓練
- 三〇日 大清掃

大藪小学校から

十月の生活目標

台風は大した被害もなく過ぎ去り、「ほつ」と致しました。秋は農家も忙しくなりますが、学校も、遠足、運動会、研究会、と数多くの行事が重なり、児童も落着かない日が続きます。昔から、一番勉強に適した気候とされておりますが、秋は、うっかりしますと行事やら、祭やら、農繁で、落着いたら十二月になつてしまつたというような事になつてしまひます。そこで今月の生活目標とし

て逆に「勉強」を定めました。動中静あり、環境にまき込まれないでしっかり勉強してゆく児童にしたいと思ひます。目標として

1. 自習をしつかりする。
2. 正しい姿勢、良い言葉で学習する。
3. 進んで研究する。
4. 活ばつて意見をのべる。
5. 助け合つて学ぶ。
6. 人の為になる仕事を進んでする。
7. 決定した事は必ず守る。

十月の行事予定

- 二日 育友会優良学校視察
- 四日 運動会総練習
- 七日 練替授業
- 八日 貯金(低)
- 一二日 秋季運動会
- 二三日 貯金(高)
- 二五日 職員研究会
- 二六日 部会
- 川〇日 若竹議会
- 中旬 遠足
- 下旬 蛭虫駆除

公民館たより

三上先生の講演会

一灯園三上先生の講演会は左記の通りであります。婦人会員は勿論ですが、男女青年団員も、一般成人の方も、多数御来聴下さることをいひたいです。

二〇	一八	一七	一六	一五	一四	一三	九	八	七	六	五	三	二	一	日
五	七	三	四	一	八	三	三	四	一	七	五	三	八	七	五
農	珠	農	農	珠	女子料理講習	珠	珠	社	珠	珠	農	珠	女子手芸	女子手芸	女子手芸
業	習	業	業	算	習	算	算	會	算	算	業	算	習	習	習
公	福	青	崇	里	明	願	願	崇	崇	福	中	福	正	福	正
會	東	年	文	公	教	正	正	文	文	東	新	東	光	東	光
堂	小	小	美	公	正	正	正	文	文	小	小	小	小	小	小
	學	學	館	會	寺	寺	寺	館	館	學	學	學	學	學	學
	校	校	館	堂	寺	寺	寺	館	館	校	校	校	校	校	校
	堂	館	館	堂	寺	寺	寺	館	館	校	校	校	校	校	校

十月中の青年學級

二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七	三八	三九	四〇
九	三	八	一	七	六	四	三	二	一	九	八	五	四	三	二	一	九	八	五
願	青	明	福	濟	青	崇	崇	崇	崇	願	公	公	公	公	公	公	公	公	公
正	年	教	東	美	年	文	文	文	文	正	會	會	會	會	會	會	會	會	會
寺	館	寺	小	館	館	館	館	館	館	寺	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂
	館		學	館	館	館	館	館	館		堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂
	館		校	館	館	館	館	館	館		堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂

青年団たより

体育部

陸上競技大会は八月十九日輪之内中学校にて開催した。団員は平素練習した技術を展開し、青年の意気を見せた。各分団の成績は、次の通りである。

- 総合得点  
 優勝 第七分団、二位第五分団、三位第六分団  
 八〇〇リレー  
 優勝 第七分団

文化部

去る九月二十三日世光劇場に於いて、輪之内町青年団芸能祭を開催した。秋晴れの好天候に恵まれあたたか青年の真意を物語っているかの如くであった。この真意に反する事なく、盛大に幕を閉じる事の出来た事、青年団員各自の自覚はもとより町民各位の御協力の賜と感謝致している。団員諸君の熱心なる演技を十二時間に渡り展開し、次の様な成績をおさめた。

劇の部

- 優勝 第五分団、二位第七分団、三位第二分団  
 優勝 緑談十五分前 (第五分団)  
 二位 明日への希望 (第七分団)  
 三位 幸運 (第八分団)

舞踊の部

- 優勝 初出姿 (第九分団)  
 二位 豊年おどり (第四分団)  
 三位 串本節 (第五分団)  
 四位 娘巡礼 (第二分団)  
 五位 りんどう峠 (第九分団)  
 六位 東京の人よサウナラ (第七分団)

歌の部

- 優勝 大橋正治 (第五分団)  
 二位 片山信一 (第八分団)  
 三位 片山淳子 (第四分団)  
 四位 伊藤潮保美 (第三分団)

五位 森 島 文 雄 (第五分団)  
入 山 賢 一 (第二分団)

◎去る九月三十日墨俣公民館に於て郡連の芸能祭が開かれ我が輪之内町青年団も参加致しました。そして大橋正治君が歌の部第一位、舞踊の部では安田岩子さんが第三位、伊藤潮保美さんが第四位入山とよ子さん入山保子さんが第六位でした。演劇と民謡に優勝出来なかつたのは残念でした。

### 片野公民館長を送る

輪之内町青年団長 松岡 繁 夫

青年団活動も極めて円滑に發展のみちを辿りつつある時、突然、片野先生が平田町に御栄転になられたことは、本団としても誠に痛惜に堪えませぬ。輪之内町誕生と共に初代の教育長に公民館長に御就任以来公民館長として先生の残された足跡は更に輝かしいものがあります。とりわけわれわれ団員の御指導については懇切を極め、筆舌に尽し得ないものがありました。従って団員は慈父の如く先生を慕って尊敬と信頼の念を寄せていたのであります。文化活動には比較的関心をもたれたい農村に於て黙々として一生懸命農村文化の尖兵として日夜活動された先生には心から頭が下りま

す。  
世情混頓として明るさを失い政官界の醜態を思うとき、自己の任務に真摯情熱を注がれた先生の社会的寄与こそ偉大であり、我々の感謝おく能わるところであります。

私等は先生の御多幸を祈ると共に何卒先生がお

蒔きになった種子が良く成長し、天高くそびえ大樹となる様末長くお見護り下さいますよう御願いたします。

次に先生の後任として恩師棚橋先生を御迎え致しました。先生の人格と識見については既に定評があり、我々は先生を得て本当に心から喜んでいるところであります。今後われわれは先生の良き御指導にもとずき各自の教養に務め、団の發展を期し、明るい住み良い理想郷建設に邁進致す覚悟をします。

以上簡単な紙上を以て両先生への御挨拶の言葉と致します。

### 婦人会たより

寄 書

明るい社会建設婦人講習会に参加して  
仁木婦人会 森 島 美 枝 子

去る八月二十三日より三泊四日、大津市比叡山上延暦寺宿院で開かれました、修養団第五回明るく社会建設婦人講習会に参加いたしました。茲に講習の大意・感想及び愚見をも併せて報告させていただきます。

本講習会は講義や行事によって、明魂を顕現し道義を確立し、同胞相愛、流汗鍛錬の正しい生活信念を体得し、以って明るい社会建設の本源である人格の完成を図るにあります。二十三日午前六時二十分大垣駅発京都市行に乗車し、会場に到着しましたのは十時半でした。受付で戴いた受講者名

簿を繰って見ますと全国より参加された方々の中には保育園・小・中・高等・大学の先生も多く美容師・看護婦・会社員・学生等受講人員約百七十名程で、其中、男子研究生が二十名程でした。午後一時より開講式が始り、主催者の挨拶に次いで、団長・講師・来賓祝辞・各方面よりの祝電披露が二時で終了し、それより予定の日程に向って次々と行事が進行しました。

諸講師の講義題目は、一、人生の目的と修養団精神・二、新生活運動について・三、自己の完成と展開・四、生きた食物について・五、一つを守る・六、真理は一つ、事実は真理・七、恩(神)の発見・八、善人(明魂)の団結と明るい社会の展開等であり、行事としては、行事練習・レクリエーション・夜の行事・朝の行事・整理・音楽・夕べの集い・山内見学・忠霊塔慰霊祭・美化作業・白ゆり会・懇談会・反省行・聖火の集い・感想文・感想発表等でありました。

時の立つに随がって次第に浄化されて行く心は何か神の花園でも行く様な心地して………歌う音響に、動作に、顔に其の輝きが溢れ、順次道を解かれる講師の一言一句は、神の御声と思われ骨身に徹しとどなく湧き出る涙を禁ずる事が出来ませんでした。語るも涙、聞くも涙、唯涙涙あるのみでした。会員相互の親しさは十年の知己の如く、次第に大家族の感じがしました。右の行事中特に忘れる事の出来ないのは、夜仮前で行われた反省行と黎明、厳肅・壮厳に行われた聖火の集いで、筆舌に表わす事の出来ない此の心魂光景

は、今も新しく脳裏に蘇り、今後の人生航路の指針になること信じます。又食を絶ち水垢離して講習の成果を祈られた竹内講師最後の講義は講習の総仕上げ・総決算とでも言うべきで、感銘一入深く、其の心境と感想発表のありさまは臉に浮かび此の原稿にペンを執っている私の眼にはいつか熱い涙が……。

此の様に三泊四日、慈光に照され幽玄極りない靈山の神秘に心打たれ、熱誠溢れる諸講師の講義に切ない祈りに、愚かな私も流石心の眼開き茲に此の有意義な講習に参加出来た事を、心より喜びおる次第であります。

講習を通して特に感じましたことは、世に人の誠程貴く、又得難いものはないと。此の誠心(明魂)に雲が掛った時、不良少年も出来、又それと反対に裁きの鞭でも更正出来なかつた落魄の青年が人の誠心によつて蘇えつた事実ある事。これ程貴い誠心明魂が誰しもの胸にある事を見極めました。それ故に此の講習中真実の前に、一同何度涙をしばつた事でありませう。

人の一生は山もなければ何もない、坦々とした平野の道を行く様な平凡なものではなく、人生に苦難はつきもので、如何なる場合に処しても、又宿命に対しても、これこそ永遠不変の喜びを得るための恩寵の鞭と信じ。小言を言はず、人を怨まず、天を呪はず、総べてを乗り越え、強く生き抜くいのち(魂)の修養こそ必要かと思ひます。

聖者は「七十にして始めて己の欲する処を得た

り」と申されました程で、私達はもろもろの恩恵によつて生かされている、貴い真実を知つて、絶えず心を培ひ、合掌の生活に生き、自己の完成に つとめ方向を誤らず、それぞれの分野を通して、人たるの使命を果さねばならぬと思ひます。かくてこそ、明るい社会が展開されると思ひます。

自己の完成は時るい家庭・社会建設の第一歩であり、明るい社会建設こそは、神仏の御旨の実現であると共に、全人類の要求する最高の念願ではなからうかと思ひます。先づ自己の完成……程よく組まれた日程は、飽くことを知らず、二十六日午前十一時半盛會裡に終了しました。閉講式後、一同最後の屋敷を共にし、懐しい道の友にそれぞれ別れを告げ、思い出深い宿院を後に、うつそうたる山道を縫つて帰途に着きました。

◆十月五日榎俣北部済美館に於て日本赤十字社岐阜支部より高橋、尾崎両氏を招き救急処置その他に関する講習を開きました。出席会員は多くはなかつたが非常に有益な講習でありました。

**教育委員会たより**

今度左記三氏が新しく輪之内町教育委員に選任せられました。

- 中 島 俊 司
- 水 谷 幾 松
- 棚 橋 武 夫

新教育委員会三名は五日抽籤に依り、中島俊司

(四年)、水谷幾松(三年)、棚橋武夫(二年)と任期決定し、互選の結果委員長に中島俊司、教育委員長職務代理に水谷幾松、教育長に棚橋武夫決定をみた。

**ごあいさつ**

元輪之内町教育長 片野 明  
 今度教育委員会の改正によつて教育委員の定数減のため九月三十日限りで輪之内町教育委員会を辞任して十月一日から平田町教育委員会委員に任命されました。輪之内町在任中は公私共に格別の御懇情を賜り御指導御べんたつとにより愉快に勤務させていただきましたことは私一生忘れることが出来ません。厚く御礼申し上げます。

思いかえしますと昭和二十八年五月仁木村の教育長を拝命して公民館や保育園のことも御世話させていただきました。昭和二十九年四月新しく輪之内町が発足した時から引きつづき教育長をして、又公民館長として多数の町民各位とも親しくしていただき及ばずながら皆さんと共に明るい町作りのために、皆さんの御同情で今日まですごさせていただきました。近頃青年団員のめざましい活動や婦人会員各位の健全な活動振りを見ますときに心残りもありますが、輪之内町の将来に明るい光明を感じて心から御喜び申します。最後に皆さんの御健康と御発展とを祈つて辞任のあいさつといたします。

### 教育委員会の改組に当って

中 島 俊 司

十月一日から法令に基いて教育委員会の組織が改まり、新しい組織のもとに発足することになりましたが、此時に当り、私は図らずも新教育委員に推薦せられ、新教育委員会に再び委員長職を汚すことになりました。省みてその責務の重大であることを痛感するものであります。

輪之内町の教育行政は、その環境が安郷楽土であり、殊にその位置が郡内の辺境にあるだけに、従来稍もすれば因循沈滞の感がないでもありませんでした。私は努めてこれが改善に努力をして参りましたが、今後共更に一段の注意を払って、町内子弟の教養をますます発展向上せしめる様に、精根をつくしてやって見たいと思えます。幸に町内の皆様の忌憚なき御意見を承って、私共の任務の遂行に一段の御鞭撻を与えていただければ幸と存じ、就任に際し一言ごあいさつを申上げる次第であります。

### 新任のごあいさつ

輪之内町教育長 棚 橋 武 夫

今回新しい地方教育行政法の実施に当りまして不肖私、図らずも輪之内町教育委員兼教育長として選任の榮を忝うしましたが、性魯鈍にして才に乏しく、加うるにこの方面の事務については全く

の未経験者でありまして、果して皆様の御期待に添い得るや否やを危ぶんでおります。ついでには驚馬にむちうって、その職責を全うすべく精進致したいと存じますから、何卒絶大なる御支援御べんたつを賜わりますようお願い申し上げます。

右簡単ではありますが、略儀ながらこの紙面を通じて就任のごあいさつがたが御願ひ申しあげます。

### 警察たより

#### 輪之内町原動機付運転者協会

##### 設立について

去る九月十六日輪之内町原動機付運転者協会が設立されました。会員総数は約三〇〇名であり、役員は左の通りであります。

本協会は、会員相互が、交通事故防止の研究等により交通状態の円滑改善に寄与せんとするものでありますから、会員は勿論町民皆様の御協力を御願ひ致します。

##### 協会役員名

会 長	中島元太郎	高 橋	庄 七
副会長	森 一 郎	高 橋	庄 七
理 事	森 島 正 一	伊 藤 曾 一	
	中 島 秀 雄	河 合 花 一	
	森 市 郎	片 野 良	
	片 野 良	片 野 定 信	
	小 川 喜 藏	棚 橋 代 三	
	伊 藤 重 夫	高 橋 庄 七	

### 編集後記

◆幾度か発生しては本土に近づいた台風も当地方にはおかげで大きな被害もなく、ふさふさと首を垂れている稲穂を見ると心からうれしくなります。

◆秋！ 秋！ 行楽の秋！ 祭りの秋！ ここしばらくの豊開期にはそれぞれ行事が沢山あることでしょうが、特に胃腸の健康に注意して、来るべき取入れ時期の活動にそなえて下さい。



金 兵 一	岡 崎 俊 三
田 中 建 三	一 柳 要
青 木 真 一	山 本 博
中 島 嘉 左 衛 門	野 々 垣 幸
山 田 武 雄	篠 田 岩 雄
安 田 順 吉	森 島 正 一
増 田 博	
進 藤 米 治	
廣 問 敬 二	牧 野 柳 平